

望遠鏡の組み立て手順

1. 望遠鏡の「脚」を組み立てる。

(1-1. 赤道儀では、脚を水平に設置し、コンパスなどを使って北の方角に合わせる[福岡の緯度はおよそ北緯33度30分])

(1-2. 赤道儀では、脚に赤道儀をとりつける)

(1-3. 赤道儀では、バランスウェイトをとりつける)

2. 望遠鏡を脚または赤道儀にのせる

3. 望遠鏡のふたを取り、アイピースをとりつける

(3-1. 赤道儀では、望遠鏡のバランスをとる)

4. ファインダーを合わせる

天体の導入手順

※ ファインダーが調整してあることを確認。

1. まず、おおよその向きに望遠鏡を向ける。
2. 次に、ファインダーの中に天体が見えるように動かす。
3. 1 番倍率の低いアイピース(接眼レンズ)をとりつける。

倍率の低いアイピースとは、接眼レンズの数字(mm)が1番大きな数字のものです。

4. アイピースをのぞいてピントを合わせ、天体が中心にくるように微調整を行う。
5. 少しずつ、倍率の大きな(数字(mm)が小さな)アイピースに変えていく。

また、アイピースを変えるたびに微調整とピント合わせが必要となります。